

いい声 いい顔 いい心

先輩に学ぶ

5月9日（月）の初任研で嶋田先生と中山先生は、中井先生の国語の授業に学びました。テンポの良さや、メリハリのある授業、児童の姿など、学ぶことが多かったようです。



「教材研究をしっかりと、授業に臨みたい」と嶋田先生・ 6-2 中井先生の国語の授業（他の先生方にも見てもらいたかった）中山先生の記録にありました。両先生の向上心が感じられました。

たくさん学びのある中井先生の授業の中で、わたしが一番「いいな」と感じたのは、中井先生自身が楽しそうに授業をされていることでした。やっぱり、授業者が楽しくないとダメですね。それは子どもにも伝わります。「楽しく、分かる授業」を構築していきたいものです。

山鹿小学校には、多くの先生方がおられます。ということは、多くの指導技術を学ぶチャンスがあるということです。「〇月〇日〇時間目が空き時間なので、ちょっと先生の授業を参観させてもらっていいですか？」「先生の空いてらっしゃる△時間目に、自分の授業の導入部分を見ていただいて、アドバイスしてもらえますか？」など。授業力を高める努力をするといいなと思う私でした。

徹底

先日、校歌・朝の歌の後、5年生が表現の舞台に集合していました。歌の声が出ていない児童が多かったため、全体指導が入ったからです。また、以前、授業の様子を見て回っているとき、2-2では先生の話を読み聞かずにいる児童を本気で指導されていました。

どちらも、指導の理由を児童自身がつかむように話をされていました。

今年度「3C+徹底」が示されています。「できていなければやり直す」「できるように手立てを考えて実践する」ことで、児童の力を伸ばしていきましょう。

山鹿市教育会の半日研（6月・10月・1月）で授業をするようになった先生は、城までお知らせください。

～ティータイム～

「5月病」

今年のゴールデンウィークは、コロナに関する制限がなかったため、人手が多かったようだ。いろんな場所で人があふれていた。道路も渋滞していた。「世の中のお父さん、お母さん、お疲れさまでした」と言いたい。そんなゴールデンウィークが終わってしまった。5月2日・6日の子どもたちの表情は冴えなかった。（そりゃそうだよな）

ゴールデンウィークが終わると、「次第に新しい環境に慣れ、初期の緊張状態が緩んでくると、いわゆる5月病の問題が出てき始める」とのことだった。「集中力が続かない」「倦怠感がある」「やる気が出ない」といった症状がそうだ。先日、テレビを見ていたら「このようなゴールデンウィークを過ごした人は、5月病に要注意」とあった。

- ・長時間睡眠をとった
- ・朝日を浴びなかった
- ・暴飲暴食をした

3点全て当てはまる自分がいた。そう言えば、倦怠感が……。いやいや、気のせいだ。ストレスを溜めこまないようにしながら、過ごしていこう。

